

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MAEC TECHNICAL NEWS

No.ASSP-06-0302

M66291 *TC1 端子の使用に関する制限事項

分 類	ドキュメント正誤表 注意事項 ノウハウ その他	対 象	USB ASSP M66291
--------	----------------------------------	--------	-----------------

1. 現象

D1_FIFO に対し、*TC1 端子のアサートによる IN バッファへのデータ書き込み完了処理を行なった時、D1_FIFO に割り付けたエンドポイントに対して、USB バス上の送信データに Zero-Length パケット(Null パケット)が追加される場合があります。

2. 発生条件

*TC1 端子を使用しないシステムは、本制限事項は該当しません。

発生条件は以下の通りです。以下 ~ すべて満たした場合に発生します。

D1_FIFO を INTM="1"で使用するシステム

IN バッファかつ EPI_DBLB="1"と設定されたエンドポイントを D1_FIFO に割り付けて転送を行なうシステム

SIE 側バッファが空の状態の時に、*TC1 端子をアサートした場合

3. 回避方法

以下 ~ いずれかの方法で回避することができます。

D1_FIFO を INTM="0"で使用して下さい。

IN バッファかつ EPI_DBLB="1"と設定されたエンドポイントは EPI_DBLB="0"に設定変更して転送を行って下さい。

*TC1 端子のアサートの代わりに、IVAL="1"の書き込みによる IN バッファへのデータ書き込み完了処理を行なって下さい。

4. 用語説明

INTM ;DMA 割り込みモード(D1_FIFO 選択レジスタ bit 9)

EPI_DBLB ;ダブルバッファモード(EPI コンフィグレーションレジスタ 0 bit 7)

IVAL ; IN バッファ/OUT バッファステータス(D1_FIFO 制御レジスタ bit 13)

以上